

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日)

1. 自立奨学支援事業

(1) 制度について

多くの子ども達が本財団の支援制度に期待している実態より、過去の実績並みの予算を確保し、定例枠 150 名に 2020 年度特別枠 60 名を加えた合計 210 名の支援とした。支援者を応募者数に合わせ、就職者と進学者を同一比率に選考支援した。

(2) 応募状況

9 月作成の「未来のつばさ自立奨学支援制度」応募要項を全国の児童養護施設、児童相談所、社会福祉協議会等へ発送し同様に財団ホームページに掲載した。応募申請は 11 月より受付を開始し、締切を 12 月 18 日とした。応募者数は自立（就職）希望者が 218 名、奨学（進学）希望者が 432 名、障がい児 47 名、合計 697 名を受理した。応募者数は過去最高人数となり支援率は 30%となった。

2011 年度から 2020 年度まで累計して応募者数は 5634 人、支援者数は 2084 人、支援率は 36%となった。

(3) 審査体制

11 月 17 日に開催された選考委員会にて選出された審査委員による第 1 次審査はコロナ禍の中、審査員の確保は困難を極め、また、応募者数の急増により今年度は異例の対応として複数審査ではなく単独審査となった。

【1次審査】

構成員	審査期間	メンバー
財団関係者	12 月 8 日～	2 名
楽天生命ボランティア	2 月 2 日	4 名

【2次審査】

審査日 : 2 月 4 日

審査員 : 選考委員 7 名

(4) 選考結果

本年度は当初計画（150名）に2020年度特別枠（60名）、および「書き損じはがき」寄付枠1名を加え、211名を支援該当者とした。

支援区分	応募者数	支援者数	はがき枠	合計	支援率
自立（就職）	218名	64名		64名	29%
奨学（進学）	432名	133名		133名	30%
障がい児	47名	13名	1名	14名	29%
合計	697名	210名	1名	211名	30%

（5）アンケート調査報告書

2016年度より実施している申請児童に対するアンケートでは、申請児童の現状、計画や不安なことなどのデータを集めることが出来た。今年度もアンケートを集計し、進路別、施設種別、男女別の割合をまとめてその結果を「応募者アンケート調査報告書」としてホームページに掲載した。

（6）「未来のつばさナビ」贈呈

自立奨学支援制度の支援者を対象として贈呈している「未来のつばさナビ」は好評を博し、今年度も2019年度支援者へ贈呈した。自立生活に役立つ情報を32ページの冊子にまとめたもので、10月に対象者へ発送したほかに、今年度も引き続き財団ホームページに掲載した。

2. 団体向け支援事業

（1）事業の広報と推進

平成31年度第6回理事会にて決定された予算に基づき、例年通りの支援規模である支援金額上限30万円、支援件数を年間12件とし地域の少額な活動を対象とする特徴を出した。

また、前期は当年事業、後期は当年事業または来年度事業を対象とした。受付を2期（前期4月～5月、後期9月～10月）に分け受付を行った。この結果10件を受理し、9件の支援を行った。

（2）選考（審査）

選考手順	審査責任者	審査方法
第1次（受付票）	事務局	実施要項規程の対象事業、申請条件の適正を確認し、所定の申請書関連書類の送付
第2次（審査票）	理事、監事	審査基準による審査で適合案件を全役員へ回送し、審査を仰ぐ

最終	理事会	役員審査により支援団体と支援金額の最終決議を行う。
----	-----	---------------------------

(3) 支援状況

	No.	団体名	事業名または事業内容	交付金額
前期 139 万 3080 円	1	公益財団法人 あいである	児童養護施設を退所し自活を始めた子どもたちに食品及び生活用品を詰めた生活支援物資「実感便」を送る。	29 万 8080 円
	2	特定非営利活動 法人 チャイルド・リソ ース・センター	児童虐待など困難を抱える親子向け親子関係再構築プログラムの修了者に、虐待再発防止のための「ほっといっぷくの会」を開催する。	30 万円
	3	アジア子ども基 金	児童養護施設で万華鏡教室を行い、複雑な家庭環境にある子どもたちの心に安らぎと明るい光を伝えたい。	30 万円
	4	NPO 法人 国際ボランティア 学生協会	長岡市の児童養護施設の子どもの内、学習への目的意識（受験等）を持ちにくい小学生を中心に全国在住の大学生ボランティアがオンラインでのマンツーマン学習支援を行う。	19 万 5 千円
	5	公益社団法人 愛知県スキー連 盟	ふだん雪に接することの少ないファミリーホームの子どもたちに、雪で遊ぶ機会を作り、希望のある子どもに関してはスキーレッスンを行う。※中止となり支援金返還となりました。	30 万円
後期 95 万 1000 円	6	一緒に歩こう会 居 場 所 サ ロ ン わかばハウス	社会的養護の下で生活している中高生及び支援者向け調理実習・フィールドワークおよび講演会の実施。	28 万 3 千円
	7	特定非営利活動 法人 子どもの自立を 支援する会・くれ よん	三重県内の児童養護施設対象①少人数チームによる仕事を知るための主体的活動へのサポート、②中高生の「仕事に関する作文」募集を同時に実施する。	20 万円
	8	あじ島冒険楽校	宮城県内の里親家庭を対象に、石巻市網地島で自然体験を学ぶ事業を行う。	30 万円
	9	社会福祉法人 下関大平学園	退所児童に対するアフターケア事業	16 万 8 千円

* N o 1 ～ 5 事業内容は広報誌「未来のつばさ（V o l . 3 0）」へ掲載

3. 広報活動事業

(1) 広報誌「未来のつばさ」

夏号を7月に、冬号を12月に発行した。計7600冊を、全国の児童養護関連施設、里親会、社会福祉協議会、行政の児童養護関連部署、児童相談所、寄付者（個人・団体）、団体向け支援事業の過去1年の支援団体、財団役員等関係者へ送付した。

(2) メールマガジン「つばさニュース」

「つばさニュース」は、登録者190名を超えた。2016年8月12日より毎月財団の活動等を配信している。メルマガ案内をチラシや広報誌に掲載し広報をすすめた。

メルマガ登録者数

		合計	キャンペーン応募者数	
	日付	人数	人数	累計
第45回	4月10日	190	1	34
第46回	5月8日	195		34
第47回	6月12日	196		34
第48回	7月10日	199		34
第49回	8月14日	200	1	35
第50回	9月11日	203		35
第51回	10月9日	205		35
第52回	11月13日	185 (※)	2	37
第53回	12月11日	187		37
第54回	1月8日	188		37
第55回	2月12日	190		37
第56回	3月12日	191		37

※なお、第52回の際送信エラーを整理したので件数が減っている。

(3) その他

各種データベース掲載更新や地域の広報誌の助成金情報掲載等、財団事業の広報活動を行った。

4. 組織運営

(1) 各種委員会開催状況

開催日	委員会名称	審議事項
5月15日	会計監査会	平成31年度事業及び決算報告の監査
6月1日	第1回理事会	① 平成31年度事業報告書と決算報告（案）の承認 ② 理事の職務権限規程および文書保存規程の制定の承認 ③ 定款変更（主たる事務所の住所変更）案の承認 ④ 令和2年度定時評議員会開催承認の件
6月26日	第2回理事会	① 団体向け支援事業2020前期最終決定の承認 ② 選考委員交替に伴う新任選考委員の選出決議
7月6日	第3回理事会	① 移転候補地の決定承認の件 ② 令和2年度定時評議員会開催の変更承認の件
7月29日	定時評議員会	① 平成31年度事業報告書と決算報告の承認 ② 定款変更（主たる事務所の住所変更）の承認の件
7月30日	第4回理事会	臨時評議員会招集の件
9月30日	臨時評議員会	理事選任の件
10月22日	第5回理事会	① 専務理事の選定の件 ② 新任理事の報酬の決定 ③ 選考委員退任に伴う新任選考委員の選出決議
11月17日	第1回選考委員会	① 2020年度自立奨学支援制度の確認 ② 2020年度選考スケジュール確認 ③ 2020年度審査会設置承認
11月25日	第6回理事会	団体向け支援事業2020後期最終決定の承認
2月4日	第2回選考委員会	2020年度自立奨学支援応募の最終選考
2月13日	第7回理事会	2020年度自立奨学支援、最終選考の承認
3月11日	第8回理事会	令和3年度事業計画及び収支予算の承認
3月31日	第2回臨時評議員会	理事選任の件

*審議事項は、主要な議案を記載した。

（2）ボランティア制度の確立

本年度は緊急事態宣言により、自立奨学事業の審査委員として B チームは招集せず、C チームは楽天生命職員 4 名のボランティアに選考していただいた。

また、毎年行われている「書き損じはがき」収集活動も楽天生命保険株式会社の代理店の皆様を中心に 21 万円以上の寄付金となり、自立奨学支援の貴重な財源となった。今後も多くの方々へ呼びかけ、誰もが参加できる財団運営を目標としたい。

（３）事務所移転

８月 15 日、事務所所在地を日本橋小伝馬町から楽天生命保険（株）本社が入る新宿イーストサイドスクエア内（新宿区新宿六丁目）へ移転した。

令和 2 年度 事業報告の附属明細書

令和 2 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 楽天 未来のつばさ